第 44 回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」議事録概要

◇日時：2023 年 11 月 27 日（月）10:00-12:00

◇場所：Webex 会議

◇出席者（敬称略）：

（委員長）宮野

（副委員長）関村

（欠席：岡本）

（幹事）鈴木、高田(孝)、高田(毅)、吉見

（欠席：浅沼、阿部、早瀬、藤田、柳原）

（委員）石田、内田、高木、越塚、瀧口、佐々木、成宮

安部、川原、中野、可児（運営タスク）

（欠席：山内、安部田、出光、大隅、加治、渡邊、奈良林、竹田、山本）

（オブザーバー）佐藤、米倉、西嶋（エネ庁）、中村（NDF）、舟木（JAEA）

長谷部（化学工学会）、新堀（学会会長）、後藤（学会理事）、

川村（学会前会長）、中島（学会元会長）富田（学会事務局）

岡田（ロボット分科会副主査）、宮本（JAEA）、小畑（廃棄物分科会）

◇議事

0. 委員長挨拶

宮野委員長より開会の挨拶があった。

1. 前回議事録および議事概要の確認

前回第 43 回廃炉検討委員会議事録案および議事概要案を確認した。

2. 廃炉委の運営

(1) 委員リスト

委員リストを確認した。オブザーバー(エネ庁)の追加登録について説明があった。

(2) 分科会委員リスト

委員リストを確認した。今回追加・変更はない。

(3) 廃炉貢献賞募集結果

廃炉貢献賞の応募結果について説明があった。この後は表彰 WG と推薦小委で審議を進めることが説明された。

(4) 次年度廃炉委予算案

24 年度予算案について説明があった。審議の結果、本予算案を学会に提出することとなった。

(5) 廃炉関係施設視察計画

廃炉関係施設の視察計画について説明があった。視察実施時期は 4 月に決定、視察場所は福島第一原子力発電所と JAEA 櫛葉遠隔技術開発センターの 2 か所を予定していることが紹介された。

3. シンポジウム等報告・計画

(1) 春の廃炉委企画セッション計画

原子力学会 2024 年春の年会における廃炉委企画セッションの計画について説明があっ

た。テーマ案として「放射性廃棄物のリスクと処理処分」を検討中で、関連分科会の主査より報告いただくことを調整していることが紹介された。

(2)FDR2024 計画状況

FDR2024 の計画および準備状況について説明があった。FDR2024 の会期前後に国内開催の国際会議が 2 件あり、続けて本会にも参加いただきたいこと、年明けにも投稿の受付を開始できるよう準備する計画であることが紹介された。

(3)SMiRT27 準備状況

SMiRT27 の準備状況が報告された。Special session は 16 件、2 件が 1F 廃炉と関係が深いセッションであることが紹介された。

4. 分科会の活動状況

(1)各分科会の現況と課題・展望

ロボット分科会、廃炉リスク評価分科会、強度基準検討分科会より活動状況の報告があり、質疑が行われた。

5. 関係機関からの話題提供

(1)1F 廃炉関連 研究開発の現況と課題・展望

JAEA における 1F 廃炉関連の研究開発の現況と課題、展望と題して紹介があった。福島復興に向けた重点活動とこれまでの歩み、1F 廃炉に向けた研究開発基盤の整備・運用の状況、研究開発の主要な課題、および最近のトピックスについて紹介があり、質疑が行われた。

6. その他

(1)次回の日程

第一候補：2 月 15 日(木) 15:30-17:30、第二候補：同日 10:00-12:00 で調整する。

以上